

## お知らせのページ

### 破傷風の予防接種

今年も破傷風の予防接種を次のように行います。

▶ 1回目・2月17日、18日

▶ 2回目・3月16日、17日

いずれも農協病院の内科で午後2時30分から3時30分まで行います。

▶ 対象者……中学生以上的一般の希望者

▶ 接種回数……初めて受ける人は4週間の間隔で2回接種、そして翌年1回、その後は4~5年毎に

1回の追加接種が必要です。今までに受けている人は4~5年に1回の追加接種をしてください。

▶ 接種料金……1人1回300円

▶ 接種してはいけない人……アルギー体質や糖尿病など慢性疾患のある人や妊産婦は接種できません。

なお、問診票は農協病院にありますので、体温は必ず測定して行ってください。

### ガンの死亡者はこんなに多い

日本人が死ぬ病気で多いのは脳卒中、ガン、心臓病の順ですが、35~64歳までの年齢層はガンによる死亡が1位となっています。この年齢の男は4人に1人、女は3人に1人がガンで死亡しています。社会でも働き盛りの、家庭の大黒柱であるお父さんやお母さんが可愛いことを残して、ガンに命を奪われています。

日本人にいちばん多いのは男も女も胃ガンです。男は胃ガンが約半数、次いで肺ガン、肝臓ガン、食道ガン、女は胃ガンが3分の1、次いで子宮ガン、肝臓ガン、肺ガン、乳ガンの順になっています。

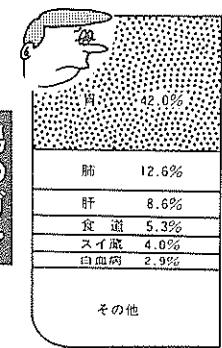
また15歳未満のこどもで、白血病や骨腫瘍などいわゆる「小児ガン」で死亡するものも毎年2千人を超えています。

日本対ガン協会は当面の目標を

○胃ガンを半減しよう  
○子宮ガン死亡をゼロにしよう  
において毎年運動を進めてきました。その結果かなりの成績をあげることはできましたが、まだまだ手をゆるめるわけにはいきません。

厚生省の発表によると、昭和48年のガン死亡者数は13,090人でした。これは時計の針が4分すすむたびに、日本のどこかで、だれかが、1人ずつ、ガンという病気で死んでいる計算になります。

この年の交通事故死者数は、約1万5千人でしたから、ガンはあのこわい「走る凶器」の8倍も多くの人を殺しているのです。多くの人はふだんから自分も家族も交通規則を守るように心がけていますが、ガンから自分も家族も守る心がけが、それ以上に必要なのです。



### 工事指名願・物品競争見積参加は

■ 昭和五十一年度の建設工事指名競争入札参加資格審査申請書(指名願)を現在受けつけています。様式は建設省統一様式です。提出する場合は郵送でもかまいません。提出期限は三月二十五日までです。企画財政課財政係までお送りください。

■ 昭和五十一年度の南国市が購入する物品の競争見積参加の申請書を受け付けています。物品納入、印刷、修繕の入札参りください。

■ 昭和五十一年度の南国市が購入する物品の競争見積参加の申請書を受け付